

とやまサイエンストピックス


富山市科学博物館
 TOYAMA SCIENCE MUSEUM

2018 年 10 月

No.487

とやま 富山にオオクワガタはいる？

オオクワガタは多くの人が知っている有名な昆虫^{こんちゅう}ですね。大型で重厚^{じゅうこう}かつ漆黒^{しっこく}の姿は、カッコイイ要素^{ようそ}の良^どいところと言^かっても過言^{かごん}ではないでしょう。このクワガタをきっかけに昆虫に興味^{きょうみ}を持つようになった方もいるのではないのでしょうか。

★オオクワガタはとっても珍しい

オオクワガタはとても有名ですが、野外で採集^{さいしゅう}したことがある人はあまり多くないはず^{はず}です。本種^{ほんしゅ}は北海道^{ほっかいどう}から九州^{きゅうしゅう}まで日本全国^{にほんぜんこく}に分布^{ぶんぷ}しているものの、個体数^{こたいすう}はどこでも少なく、珍^{めづら}しい昆虫です。クヌギやアベマキ、ブナなどの林^{せい}にすみ、成虫^{せいちゅう}は樹液^{じゅえき}が出ている木の洞^{うろ}に、幼虫^{ようちゅう}は比較^{ひかく}的乾燥^{てきかんそう}した立ち枯れ^{たお}（倒れずに立っている朽木^{くちき}）の中にいます。幼虫^{ようちゅう}は多湿^{たしつ}に弱いようで、地面に倒れている朽木からはあまり見^みつかりません。また、最近^{しんく}は人間が飼育^{しよく}して

いたと思われる個体が野外で見^みつかっており、天然^{てんねん}の個体^{こたい}か迷^{まよ}う場合も多くなっています。

★富山にオオクワガタはいる？

公式記録^{こうしききろく}は、1987 年に富山市経堂^{きやうどう}で1 個体が見^みつかった1 例^{れい}だけで、その後追加記録^{ついかきろく}はありません。そのため、この記録は人間が逃^{にげ}がした個体^{こたい}だったのかもしれませんが、インターネットでは富山で採集^{さいしゅう}されたという本種^{ほんしゅ}の写真^{しやうしん}がいくつか見^みつかりました。これらは科学的な公式記録^{こうしききろく}としては扱^{あつか}えませんが、とても興味深い情報^{きょうみぶか じょうほう}です。また、石川と新潟で

は天然個体^{てんねんこたい}と思われる個体^{こたい}が見^みつかっており、間^{あいだ}に挟^{はさ}まれた富山にも生息^{せいそく}している可能性^{かんのうせい}は十分^{じゅうぶん}あります。果たして、富山にオオクワガタはいるのでしょうか？

（昆虫担当^{こんちゅうたんとう} 岩田朋文^{いわともふみ}）



図1 オオクワガタの雌雄^{しゆう}

今月^{こんげつ}のかぐくのギモン：小さいクワガタムシの成虫^{せいちゅう}でも長^{なが}く育^{そだ}てていれば体^{からだ}は大^{おお}きくなりますか？（答えは当館ホームページをご覧ください。）